SONY

4-257-843-**03**(1)

ステレオ
イヤーレシーバー

MDR-EX600

 Printed in Thailand

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

禁止

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

⚠警告

禁止

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、イヤーレシーバーは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

⚠注意

禁止

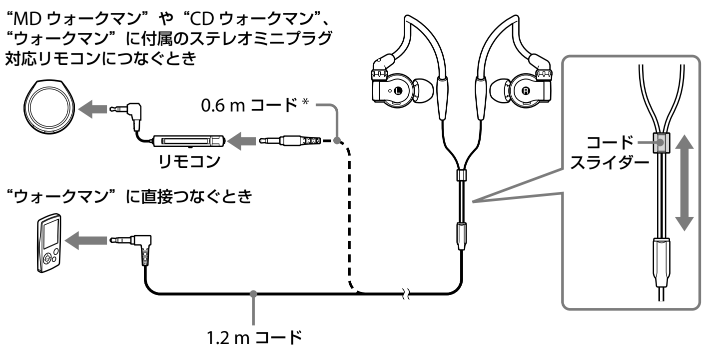
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- このイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- イヤーレシーバーが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- イヤーピースはしっかり取り付けてください。イヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。

主な特長

- 直径 16 mm ダイナミック型ドライバーユニット採用により、広帯域再生、広ダイナミックレンジと解像度の高い再生音を実現
- ドライバーユニットに ML（マルチレイヤー）ダイアフラムを採用することにより不要な振動を抑制し、解像度の高い再生音を実現
- ハウジングにアルミニウム合金及び制振 ABS を採用し、不要な振動を抑え、低音のスムーズなレスポンスとクリアな中高音を再現
- 手作業による精緻な音質調整により理想的な音響特性を確保
- 耳への安定性を高めるフレキシブルイヤーハンガー
- ドライバーユニットを外耳道に対して垂直に配置する、密閉型バーティカル･イン･ザ･イヤー方式採用により耳への負担が少なく快適で安定した装着性を実現
- ハイブリッドイヤーピース（7 種類：SS、S、MS、M、ML、L、LL）に加え、遮音性を向上させる新開発ノイズアイソレーションイヤーピース（3 種類：S、M、L）も付属
- 着脱式コード（1.2 m / 0.6 m）
- 本革製キャリングケース付属

接続のしかた

ステレオミニプラグ対応の機器に接続できます。



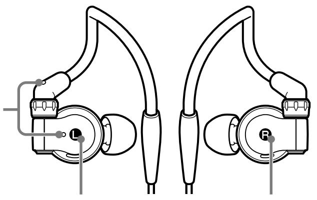
* つなぐ機器に合わせてコードを付け換えられます。「コードの交換方法」をご覧ください。

コードスライダーの使いかた

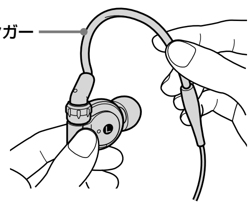
コードスライダーを上下に動かして、コードの分岐を調節することができます。

イヤーレシーバーの使いかた

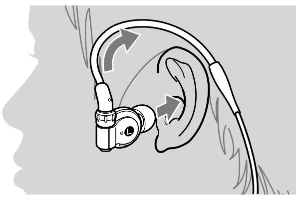
Ⓡ の印の付いた方を右耳に、Ⓛ の印の付いた方を左耳に付けてください。
Ⓛ の印の方には左右識別用の突起があります。



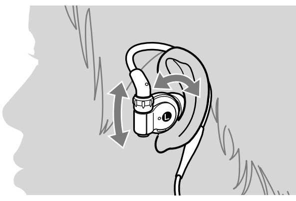
1 イヤーレシーバーを下図のように持ち、ハンガーを耳の形になるように曲げる。



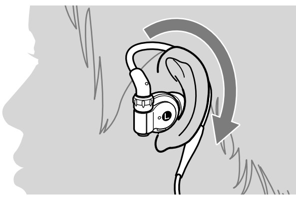
2 ハンガーを耳の後ろにかけながら、本体を耳に装着する。



3 本体を上下左右に動かして、おさまりの良い位置に調節する。

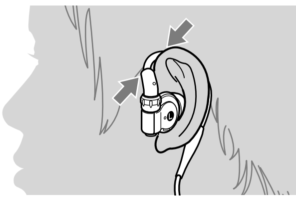


4 ハンガーが耳にぴったりと沿うように調節する。



ヒント

下図のように、耳の根元をハンガーと本体で挟み込むように押さえると、イヤーレシーバーが安定します。



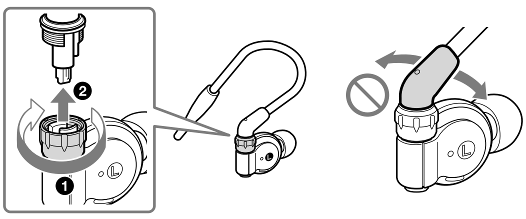
コードの交換方法

コードをはずすには

イヤーレシーバーのネジ部分をはずしてからコードを引き抜いてください。

ご注意

ハンガーの根元を回さないでください。破損の原因となります。

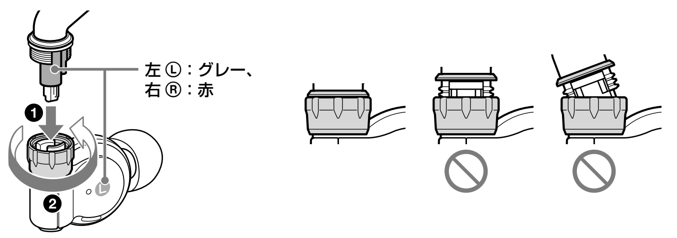


コードを取り付けるには

コードの先とイヤーレシーバーの ⓁⓇ の色で左右を確認してから、コードをイヤーレシーバーに差し込み、すき間がなくなるまでネジ部分を締め込んでください。

ご注意

コードを斜めに差し込んだ状態で、ネジ部分を無理に締めないでください。破損の原因となります。



イヤーピースの正しい装着方法

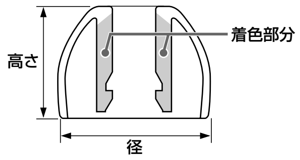
イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズや種類を交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、ハイブリッドイヤーピースの M サイズが装着されています。サイズや種類が耳に合わないと感じたときは、付属のイヤーピースの中から、最適なものを選んで交換してください。
イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、イヤーレシーバーにしっかり取り付けてください。

ハイブリッドイヤーピースについて

イヤーピースのサイズ（内側の色）

高さ ＼ 小さい ← 径 → 大きい			
高い	–	ML（青）	LL（紫）
高さ	S（橙）	M（緑）	L（水色）
低い	SS（赤）	MS（黄）	–

断面図



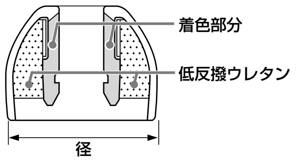
ノイズアイソレーションイヤーピースについて

本機にはハイブリッドイヤーピースに加えて、より耳にフィットし、遮音性を向上させる目的で、ノイズアイソレーションイヤーピースを付属しています。S、M、L の 3 サイズの中から適したサイズをお選びください。

イヤーピースのサイズ（内側の色）

小さい ← 径 → 大きい		
S（橙）	M（緑）	L（水色）

断面図

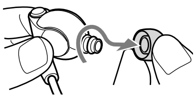


ご注意

- ノイズアイソレーションイヤーピースは、しっかりと耳にフィットすることにより効果を発揮しますが、長時間の使用により、耳への負担が大きくなる恐れがあります。痛みや違和感のある場合には、使用を中止してください。
- 低反撥ウレタン素材は非常に柔らかいため、ウレタンだけを持ったり引っ張ったりしないでください。ウレタンが破れたり、イヤーピースから分離したりすると、元に戻らず、ノイズアイソレーションイヤーピースとして機能しなくなります。
- 低反撥ウレタン素材は、長期の使用・保存により劣化します。反撥力が失われて硬くなってくると、ノイズアイソレーションイヤーピースとして機能しなくなる恐れがあります。
- ノイズアイソレーションイヤーピースは洗わないでください。また、汗などは充分に乾燥させて、低反撥ウレタン内部に水分が残らないようにしてください。早期劣化の原因となる恐れがあります。

イヤーピースをはずすときは

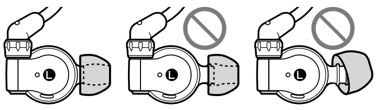
イヤーレシーバーを片手で押さえ、もう一方の手でイヤーピースを軸ごとねじりながらはずします。



ヒント
イヤーピースが滑りやすくはずしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。

イヤーピースをつけるときは

イヤーレシーバーの突起部分が完全に隠れるまで、イヤーピースの着色部分を押し込んでください。



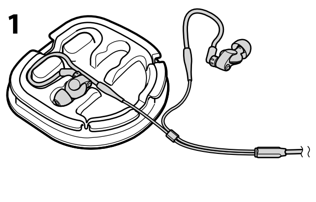
キャリングケースの使いかた

あらかじめコードスライダーを引き上げてコードをまとめてください。

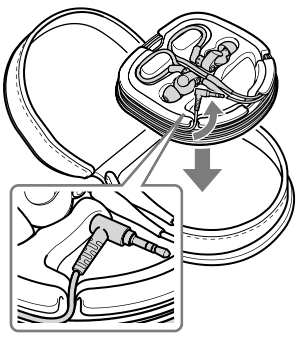
1 **インナーケースにイヤーレシーバーを収納する。**

2 **インナーケースの横みぞにコードを巻いてプラグをおさめてから、キャリングケースに収納する。**

1



2



ご注意

- コードが断線する恐れがありますので、キャリングケースを閉じる際にはコードをはさまないようご注意ください。
- キャリングケースについてのご注意
  - 天然の素材を使用しておりますので、整髪料や皮脂などの影響により、色落ちして他のものに付着する場合があります。また、一品ごとに風合いや色合いが異なる場合があります。
  - お手入れの際に溶剤（アルコール・シンナーなど）は使わないでください。変色・変形・劣化などによりキャリングケースをいためる場合があります。
  - ぬれた場合には、乾いたタオルで拭き取り、充分乾燥させてからご使用ください。色落ちの原因となります。
  - 炎天下や直射日光の当たる車中など高温多湿になるところには放置しないでください。

主な仕様

形式：	密閉ダイナミック型
ドライバーユニット：	16 mm、ドーム型（CCAW 採用）
最大入力：	200 m W（IEC*）
インピーダンス：	32 Ω（1 kHz にて）
音圧感度：	107 dB/mW
再生周波数帯域：	4 Hz ～ 28,000 Hz
コード：	1.2 m / 0.6 m（OFC リッツ線、Y 型コード、着脱式）
プラグ：	金メッキ L 型ステレオミニプラグ（1.2 m コード） 金メッキステレオミニプラグ（0.6 m コード）
質量：	約 8 g（コード含まず）

付属品

キャリングケース（1）/ 1.2 m コード（RK-EX600LP、1）/ 0.6 m コード（RK-EX600SP、1）/ ハイブリッドイヤーピース（SS、S、MS、M、ML、L、LL 各 2）/ ノイズアイソレーションイヤーピース（S、M、L 各 2）/
保証書（1）/ 取扱説明書（1）

* IEC（国際電気標準会議）規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

取り扱い上のご注意

- このイヤーレシーバーは、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。保管するときは変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- ハンガーやコードを持って無理に引っ張らないでください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、内部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- ハイブリッドイヤーピースのお手入れは、イヤーレシーバーからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- イヤーピースは、誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合は、別売りの EP-EX10 シリーズ（SS、S、M、L の各サイズ）をお買い求めください。

1.2 m コード（RK-EX600LP）と 0.6 m コード（RK-EX600SP）が破損した場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
パソコンから
http://www.sony.co.jp/avp-regi/
携帯電話から
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1